

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2019年度 パフォーマンス向上会議情報(2020年1月31日(金)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2020年1月31日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	【放射線の公開データの一部誤りについて】 放射線の公開データの一部(大型メンテナンス建屋でのフランジタンク片の除染後のサーベイ及び作業環境モニタリングに使用して測定した値)について、放射線計測器の校正時、校正線源にアルミ板が付いたまま誤って校正を実施していたとの連絡を委託先から受けた。 今後、再校正(校正線源のアルミ板を外して校正)を実施し、公開データを訂正予定。	G II	1月27日
2	【既設多核種除去設備逆洗ポンプ2メカシールからの漏えいについて】 「既設多核種除去設備逆洗スキッド漏えい」警報が発生。 現場確認の結果、既設多核種除去設備逆洗ポンプ2は停止状態で1秒に2滴のメカシール漏えいを確認。 現状は出入口弁「閉」により漏えいはない。 当該メカシールを交換予定。	G III	1月27日
3	【5号機残留熱除去系海水ポンプ(A)出口弁の操作ハンドル腐食および亀裂について】 5号機残留熱除去系海水ポンプ(A)出口弁の操作ハンドルのフォーク部に腐食および亀裂がある状態を確認。 なお、当該ハンドルにより弁の開閉操作は可能な状態であり、弁の機能として問題ないことを確認。 今後、弁の点検および修理を実施予定。	G III	1月27日
4	【増設多核種除去設備吸着塔(6B)入口pH計の計器点検不具合について】 製造メーカーにて増設多核種除去設備・pH計(Z92-PHIT245B)の計器校正を実施しようとしたが、計器誤差が精度外で計器校正ができなかった。 当該計器が不良であるため、交換予定。 なお、他のpH計にて監視可能なため、当該設備への影響はない。	G III	1月28日
5	【実施計画II 2.7電気系統設備の単線結線図の不整合について】 実施計画II 2.7電気系統設備に係わる実施計画変更申請における規制庁との面談時、添付資料-2「所内単線結線図」において不整合があることについて規制庁より指摘を受けた。 確認の結果、2016年10月に申請した最新版の「所内単線結線図」を用いて改定作業を実施すべきところ、最新版ではない「所内単線結線図」を用いて改定作業を実施したことから、最新版との不整合が発生。 今後、原因調査および再発防止対策を実施予定。	G III	1月28日